

「祖父江地区の新しい公立保育園の園舎機能について考える懇談会（ワークショップ）」の開催報告

1 ワークショップ開催の背景

祖父江地区の公立保育園については、児童数の減少により、集団保育が難しい園児数の保育園が生じたため、令和5年4月から長岡保育園、令和6年4月から山崎保育園が休園となりました。園舎についても、祖父江地区の公立保育園6園（祖父江・牧川・丸甲・領内・長岡・山崎）のうち、牧川保育園を除いた5園は昭和40年代の建物であり、老朽化が進んでいます。

入園児童数の減少、園舎の老朽化という課題に対応するため、「稲沢市立保育園再編計画（個別施設計画）」（令和3年3月策定）に基づき、より良い保育サービスを提供できる、祖父江地区の新たな公立保育園の整備について検討を進めています。

2 ワークショップ開催の目的

本市では新たな公立保育園について、①稲沢市の特徴である「子ども主体の丁寧な保育」を施設面で補完できること、②人種、性別、宗教、障がいなど様々な個性を持つ園児を受け入れることができること、③社会環境が短期間で変化し、その変化に応じて保育士が対応でき、また、質の高い保育サービスを提供できること、④災害に強く、被災しても素早く保育サービスを提供できること、この4点をハード面で対応・支援できる公立保育園の整備を目指したいと考えています。その上で、どんな公立保育園が良いのか。今回のワークショップ開催の目的は、利用している保護者の視点と、実際に働いている保育士の視点から機能・設備などのアイデアを発掘することを目的としています。

3 開催概要

開催日	令和6年6月29日(土)	令和6年7月5日(金)
開催時間	午前9時30分から11時30分まで	午後4時から6時まで
開催場所	祖父江生涯学習センター 第2研修室	
対象者の 選定	祖父江地区の公立保育園に通園する保護者及び 稲沢市内の公立保育園に勤務する保育士を対象。	
参加者数	11名(保護者5名、保育士6名)	15名(保護者9名、保育士6名)

4 タイムテーブル

6月29日(土)	7月5日(金)	内容
9時30分	16時	開会
9時35分 ～10時00分	16時5分 ～16時30分	説明【祖父江地区公立保育園の現状と今後について】
10時00分 ～10時10分	16時30分 ～16時40分	アイスブレイク① ※ グループ員同士の自己紹介
10時10分 ～11時00分	16時40分 ～17時35分	アンケート結果の報告 ワークショップ① ※ 個人ワーク、グループワーク
11時00分 ～11時25分	17時35分 ～17時55分	ワークショップ② ※ 発表(1グループあたり5分)
11時25分 ～11時30分	17時55分 ～18時	講評
11時30分頃	18時頃	閉会

5 祖父江地区公立保育園の現状と今後について

保育課より、現在検討している祖父江地区公立保育園等の再整備案(図1及び図2)について説明を行いました。

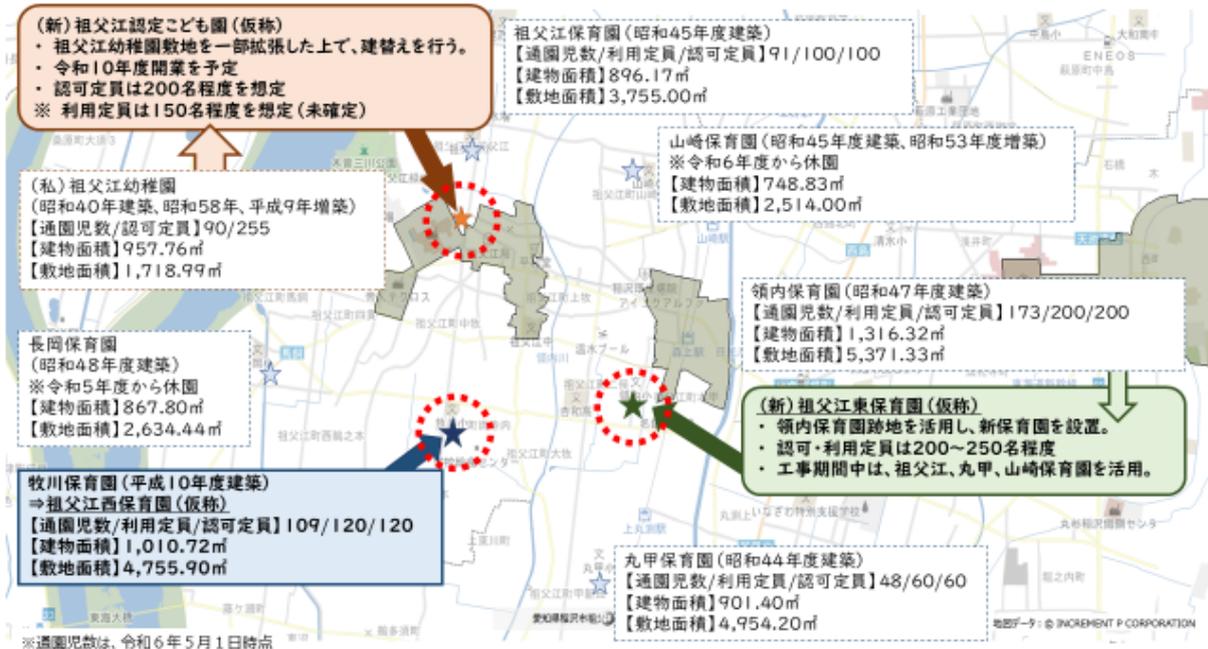


図1 祖父江地区の公立保育園等の再整備のイメージ案

国名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
※ 参考				・ 地方債償還完了 ・ 補助金取得後10年経過							
【私】祖父江幼稚園 ⇒ (仮) 祖父江認定こども園				設計・建設工事?		供用開始?					
祖父江保育園					・ 領内保育園整備期間中の園児を受入れ			・ 年度末をもって閉園	← 解体設計	→ 解体工事	
山崎保育園		・ 4月～休園			・ 領内保育園整備期間中の園児を受入れ			・ 年度末をもって閉園	← 解体設計	→ 解体工事	
丸甲保育園					・ 領内保育園整備期間中の園児を受入れ			・ 年度末をもって閉園	← 解体設計	→ 解体工事	
領内保育園		基本構想・基本計画 ※ 市民参加を含む			・ 在園児を他保育園へ移動						
新保育園 ⇒ (仮) 祖父江東保育園		整備方針・周知等 ※ 市民参加(ワークショップ)を含む		← 解体準備	→ 解体設計	← 解体工事					
牧川保育園 ⇒ (仮) 祖父江西保育園					基本設計	→ 実施設計	← 建設工事 ※ 園舎・外構等含む				
長岡保育園		・ 4月～休園中						・ 遊具リニューアル	← 解体設計	→ 解体工事	

図2 祖父江地区の公立保育園等の再整備のスケジュール案

6 ワークショップの実施方法

5～6人ごとのグループに分かれたグループワーク形式で開催しました。グループワーク形式は、話し合いの場において、参加者がグループ内で知識や考えを共有することで、多様な意見の創出が期待される手法です。

<ワーク行程>

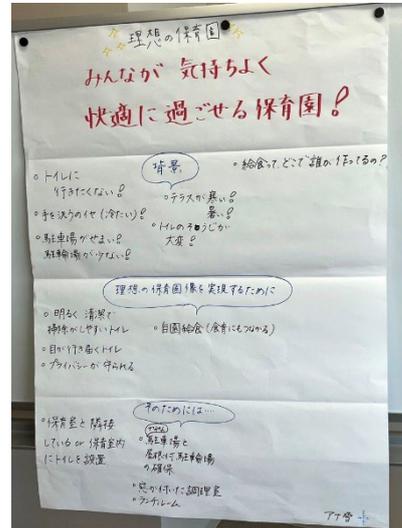
ワーク I	思いついたことを付箋に記載する
概要	次の項目に係るアイデア・意見を付箋に記載する。(事前課題として周知) ① 現時点の祖父江地区公立保育園の施設設備面で課題と思われる点 ② ①の課題の解決方法 (『～だといいなあ』) ③ 理想の保育園像 (ワンフレーズで)
効果	書き出すことにより、自分の考えを整理することができる。



ワーク II	書き出した付箋を整理する
概要	付箋に書かれたアイデア・意見の中で、似たアイデア同士をグループ分けし、用意した模造紙上で整理する。
効果	他者の意見を理解できるとともに、新しい意見が創出しやすくなる。



ワークⅢ	アイデアをまとめる
概要	整理したアイデア・意見をもとに、新たな保育園像（理想の保育園像）を創る。
効果	整理したアイデアをもとに、グループ内で意見交換を行うことで、より高度な議論ができる。



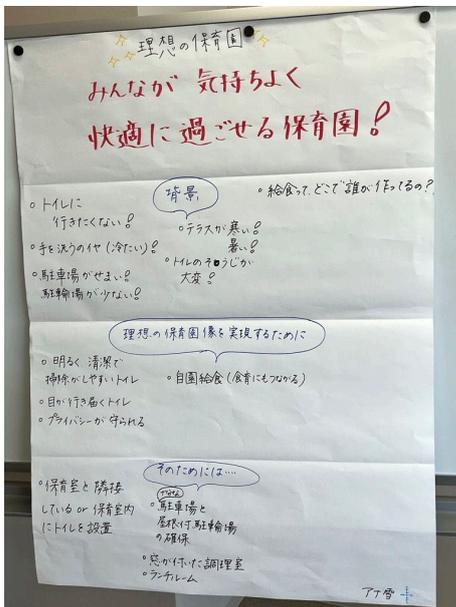
ワークⅣ	グループで発表する
概要	グループで話し合いを行った結果を、全体発表を行って他のグループと共有する。 全体とアイデアを共有することで、他のグループの話し合いで出された多様な意見を知ることができる。
効果	参加者全員で意見を共有することで、自グループでは出なかったアイデアに気が付くことができる。



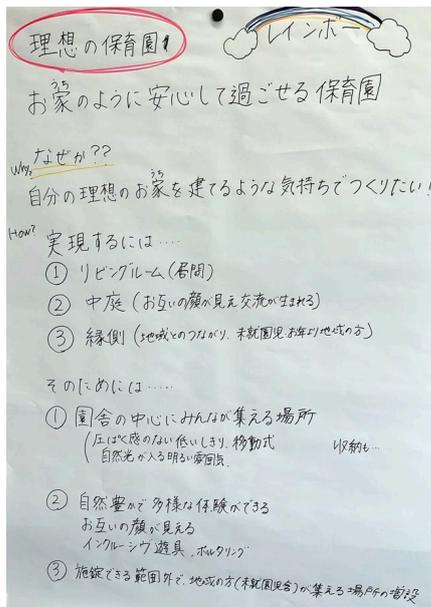
7 保護者・保育士からの主なアイデア、発表内容

(1) 令和6年6月29日（土）開催

- ・ A 班（グループ名：アナ雪）は、理想の保育園像を「みんなが気持ち良く快適に過ごせる保育園！」と掲げ、課題として、（薄暗い雰囲気であるため、）園児が行きにくいトイレや駐車場・駐輪場の狭さ、テラス（外廊下であること）等を指摘していただきました。その課題に対する解決策のアイデアとして、明るく、掃除がしやすく、清潔さを維持することができるトイレ、プライバシーを守りながら、保育士の目が行き届くトイレの整備、保育室付近でのトイレの設置や、室内の手洗い場の設置、中廊下の設置、自園調理方式の採用（調理室の設置）、屋根付き駐車場整備等を提案していただきました。

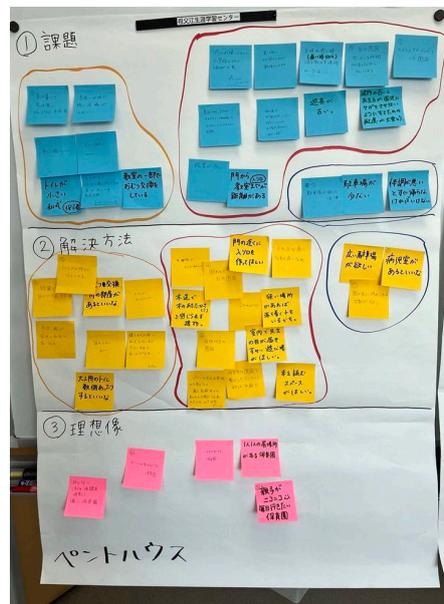
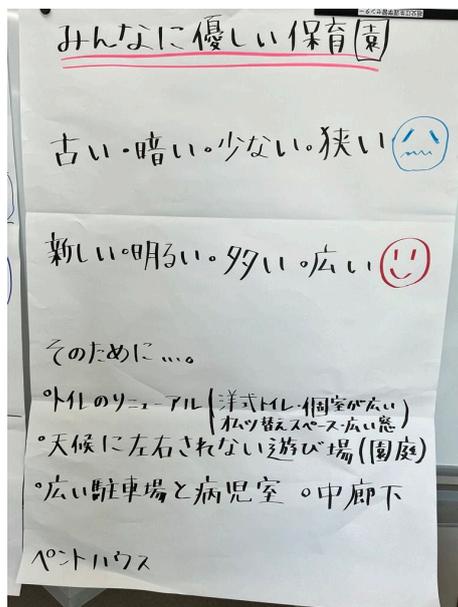


- ・ B 班（グループ名：レインボー）は、理想の保育園像を「おうちのように安心して過ごせる保育園」と掲げ、その背景は、「自分の理想のおうちを建てるような気持ちで作りたい」というものでした。その背景を実現するアイデアとして、園舎の中心に皆が集えるよう、圧迫感のない低いしきりの設置や移動式の壁の設備、インクルーシブ遊具の設置、（防犯安全上の問題なく）地域交流ができるスペースの整備等を提案していただきました。



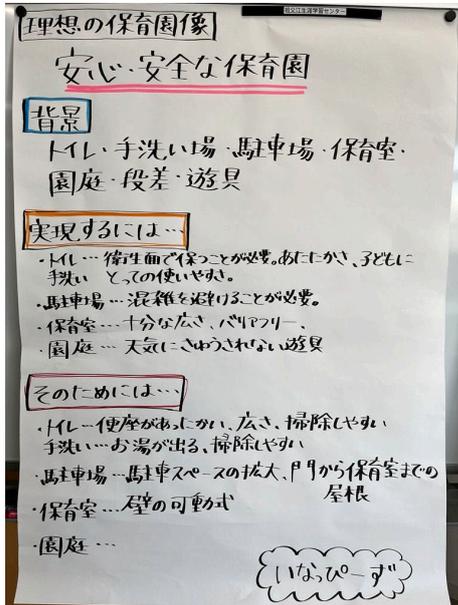
(2) 令和6年7月5日 (金) 開催

- ・ A 班 (グループ名: ペントハウス) は理想の保育園像を「みんなに優しい保育園」と掲げ、課題として、現在の祖父江地区の公立保育園は (園舎が) 古い、(トイレが) 暗い、(駐車場が) 狭いこと等を指摘していただきました。その課題に対するアイデアとして、トイレのリニューアル (洋式トイレ、個室を広く、オムツ替えのスペースの設置) や広い駐車場の整備、病児室の設置、中廊下の設置等を提案していただきました。

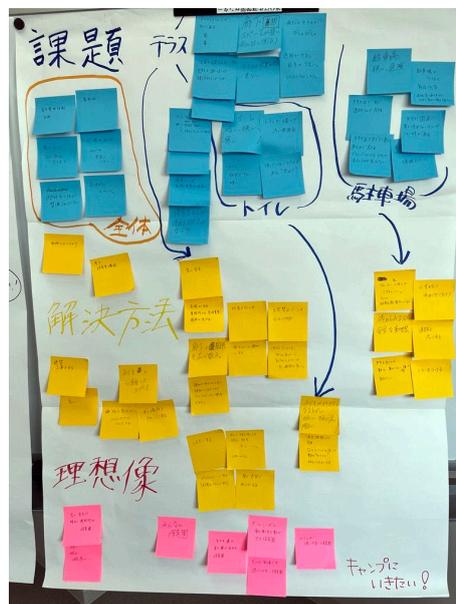
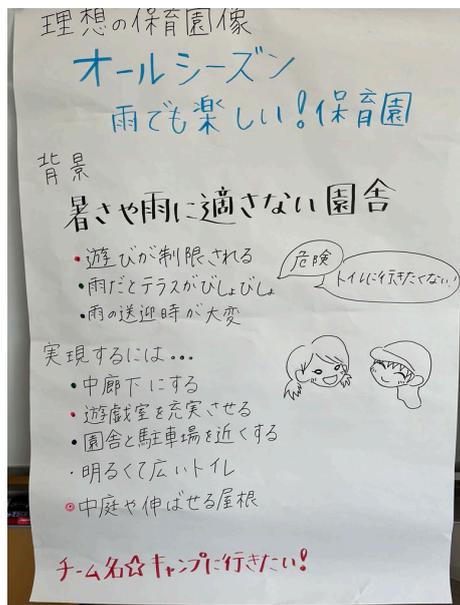


- ・ B 班 (グループ名: いなっぴーず) は理想の保育園像を「安心・安全な保育園」と掲げ、課題として現在の祖父江地区の公立保育園はトイレが古い・暗い、段差がある、保育室や駐車場が狭いこと等を指摘していただきました。その課題に対する解決策

のアイデアとして、温度調整ができる便座や（個室が）広く、清掃がしやすいトイレの設置、十分な広さのある駐車場の整備、玄関から保育室まで濡れないような屋根及び中廊下などの整備、お湯が出る手洗場の設置、可動式の壁がある保育室の整備等を提案していただきました。



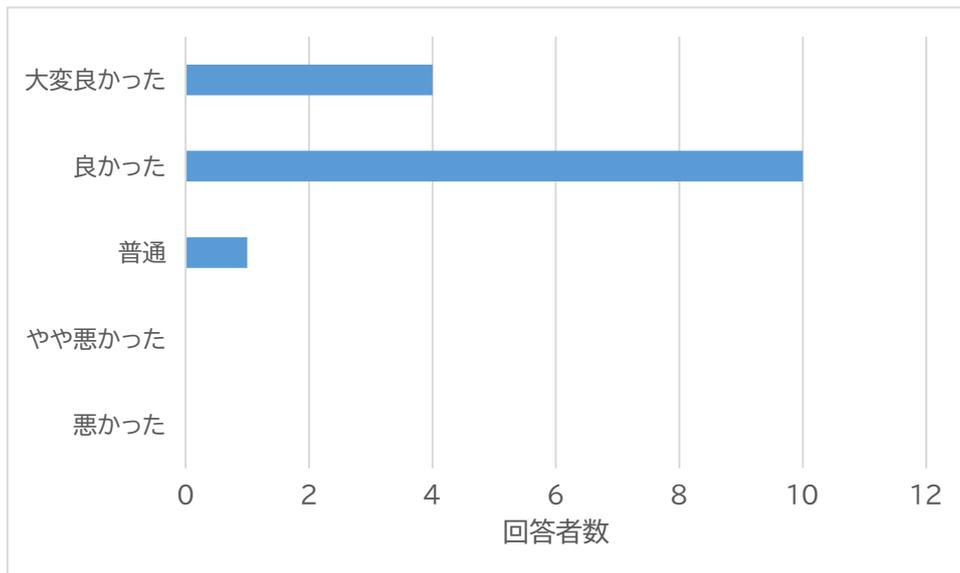
- ・ C班（グループ名：キャンプに行きたい）は理想の保育園像を「オールシーズン 雨でも楽しい保育園」と掲げ、課題として現在の祖父江地区の公立保育園は暑さや雨に適さない園舎であることを指摘していただきました。その課題に対する解決策のアイデアとして、中廊下の設置や遊戯室（の機能、広さ）の充実、園舎までの距離が近い駐車場の整備、明るく、スペースが広いトイレの設置、中庭の整備、伸ばせる屋根の整備等を提案していただきました。



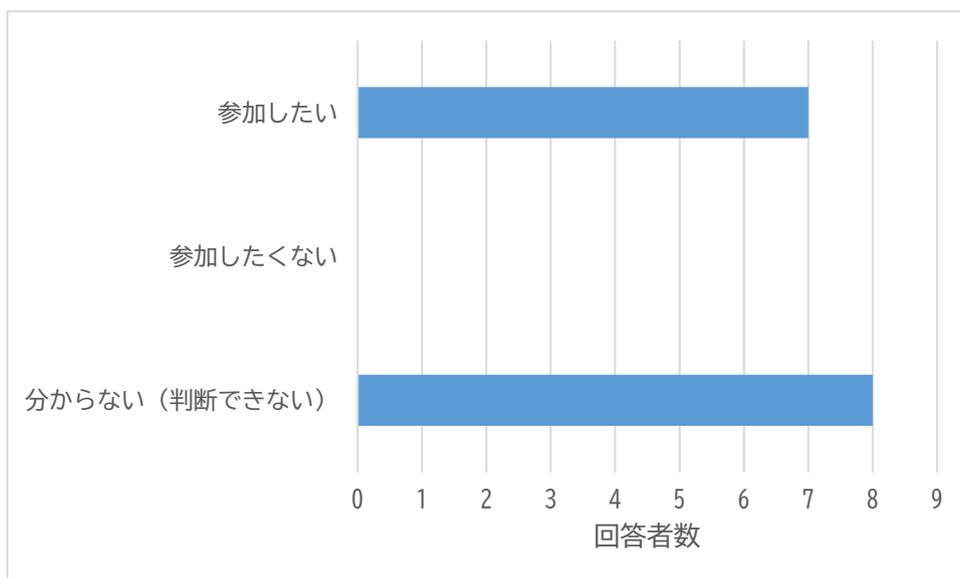
8 事後アンケート

ワークショップ開催後に参加者を対象としたアンケートを実施し、参加者数 26 名のうち、15 名の方から回答をいただきました。

(1) 満足度



(2) (保育に関するワークショップが開催されるならば、) 次回も参加したいか。



9 まとめ

- ・ ご提案いただいたアイデアを総括的に見ると、『快適なくらし、快適な空間の確保』を望んでいることが推考できました。具体的な設備案の一例として、トイレに関して言えば、いつでも清潔で明るい雰囲気なら、子どもたちも怖がることなく自分でトイレに行けるようになると考えられます。また、設置場所についても、自然の光が入ってくる明るい場所に設置する等が考えられます。さらに、安全のために保育者が見守りやすいデザインや、子どもに合ったサイズの用具を取り付けるなどが考えられます。
- ・ これらのアイデアについては、今後策定予定である祖父江地区新保育園の基本構想・基本計画の基礎資料として活用していきたいと考えます。

10 ワークショップ開催の様子

